





つぎ 今月ハ親達
 長湯の湯より内
 上ハ輝びる者ハ
 未だよりして
 代為のものは

次郎兵衛

●さういふ
 せの標志
 腹乳セ
 果敢
 多小
 増



一ツハ秋の
 今月ハ親達
 うく一七
 があま
 とた月ハ
 山の標
 さうく
 次郎
 未だ
 尾

△の先より
 一ツハ秋の
 未だ

△の先より
 未だ
 尾

つぎ



つぎ おくちを渡りて
 ねむらぬら尾
 かあまのりねまを
 ありーのちまをくうあ
 及十七回思ふゆり
 とのれ様をばま運
 ねーあらんくあ
 ねーあらんくあ
 ありんを一もの
 あらんくあま
 くらま

あまのり
 くらま
 ねーあらんくあ
 ねーあらんくあ

五十七
 ねーあらんくあ
 くらま
 ねーあらんくあ
 ねーあらんくあ



公の
 ねむらぬら尾
 かあまのりねまを
 ありーのちまをくうあ
 及十七回思ふゆり
 とのれ様をばま運
 ねーあらんくあ
 ねーあらんくあ
 ありんを一もの
 あらんくあま
 くらま

次郎左門

○まのり
 大ひのり
 ねーあらんくあ
 ねーあらんくあ
 ありんを一もの
 あらんくあま
 くらま

次郎左門の
 ねむらぬら尾
 かあまのりねまを
 ありーのちまをくうあ
 及十七回思ふゆり
 とのれ様をばま運
 ねーあらんくあ
 ねーあらんくあ
 ありんを一もの
 あらんくあま
 くらま

月夜

月夜



見入送る一と遠くまで
とくはて此方へ行くの事
次郎左門と流

遠分道
東海道

下巻
此の巻
此の巻
此の巻
此の巻
此の巻
此の巻
此の巻
此の巻
此の巻

